

■ 2026年度 入試問題分析シート ■

北海道大学

前期日程

科目

地学

総括

| | | | | | |
|--------|--|----------|----|-----|----|
| 試験時間 | 2科目 150分 | 難易度(昨年比) | 難化 | 昨年並 | 易化 |
| 満点(配点) | 数学重点:100点(50点×2), 物化生重点:150点(必100点, 他50点) 総合科学/学部別入試:150点(75点×2) | 分量(昨年比) | 増加 | 昨年並 | 減少 |

〈総論〉

大問数は例年通り4題である。
多くの図をもとに出題された。
教科書にない題材でも、図表や問題文から考える学力が必要である。

〈特記事項・トピックス〉

〈合格への学習対策〉

基礎を重視した問題でおもに構成されているから、それに従って、高校の課程で履修する基本的な事柄を学習すればよいであろう。
ただし、高得点を望むならば、日頃からいろいろな自然現象に関心を持ち、思考力と洞察力を高めておく必要がある。また、現象を文や図でまとめる力が要求されていくであろう。

設問ごとの分析

| 問題番号 | 出題形式 | 範囲 | 分野・テーマ | 特徴(内容分析・解答上のポイント) | 問題レベル |
|------|----------------------------|---------------------|---------------------|--|-------|
| 1 | 記述 論述 計算 選択 | 地学 基礎 ・ 地学 | 固体地球分野, 地球表層部の構造 | 問5で、壊変後の安定同位体が指定されているのは珍しい。 問6は、公式を知っていると短時間で解答に至る。 | 標準 |
| 2 | 記述 論述 計算 描図 選択 | 地学 基礎 ・ 地学 | 地質地史分野, 地質断面図と岩塩 | 岩塩ダイアピルという珍しい素材が扱われた。 問4は、陸地に閉じ込められた環境のみを想定していると、答えにくいであろう。 | 標準 |
| 3 | 記述 論述 選択 | 地学 基礎 ・ 地学 | 大気海洋分野, エルニーニョ現象 | 問3で、赤道上の空気塊にはたらく力が問われるのは珍しい。 問6の図2(b)のタイプのグラフは、見慣れていない受験生も多かったであろう。 | 標準 |
| 4 | 記述 論述 選択 | 地学 基礎 ・ 地学 | 天文分野, 恒星と惑星 | 問4は、深い理解が問われた。 | 標準 |

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。